

FWP 研究会(Fire Water Project) ワークショップ
「これからの地域消防水利と管路の維持・更新を考える」

本年は、阪神・淡路大震災から 30 年の節目にあたります。しかしながら、その後も我が国においては東日本大震災、熊本地震、そして令和 6 年能登半島地震などの大規模災害に見舞われ、その度に消防関係者、水道関係者が復旧対応に当たっています。

このような背景のもと、本年度の FWP 研究会ワークショップでは、阪神・淡路大震災から能登半島地震までに何が変わったか、何がまだ変わっていないのかについて、消防および水道の観点から議論する場にしたいと思います。

1. 主 催 : FWP 研究会
事務局 : 公益財団法人 水道技術研究センター
2. 日時 : 令和 7 年 3 月 10 日 (月) 10:00~11:45
3. 開催方法 : オンライン開催 (Zoom、YouTube)
4. プログラム (内容については一部変更する場合がございますので予めご了承下さい。)

受付開始 9:30~		
開会挨拶	水道技術研究センター 常務理事 清塚 雅彦	10:00~10:05
第 1 部 事例紹介 / 進行: 水道技術研究センター		
(1) 95 年阪神・淡路大震災を踏まえた 消防水利と水道施設整備	神戸市水道局 東部水道管理事務所 所長 坂田 昭典	10:05~10:20
(2) 都市火災からみた大規模災害時の 消防のあり方について	東京大学 教授 廣井 悠	10:20~10:35
— 休 憩 5 分 —		
第 2 部 総合討論 / 進行: 東京大学 教授 廣井 悠		
<テーマ> 最近の水道・消防の動向、阪神・淡路大震災から 30 年、能登半島地震から 1 年を踏まえてこれから	参加者 ・国土交通省 課長補佐 中井 隆 ・総務省消防庁 消防・救急課 警防係長 鈴木翔平 ・神戸市水道局 東部水道管理事務所 所長 坂田 昭典 ・横浜市水道局 施設部長 江夏 輝行 ・名古屋大学 防災担当参事 木全 誠一 ・水道技術研究センター 常務理事 清塚 雅彦	10:40~11:40
閉会		
閉会挨拶	名古屋大学 防災担当参事 木全 誠一	11:40~11:45

5. 定員 : 無制限 (YouTube : 無制限、Zoom : 300 名)
6. 参加費 : 無料

7. 申込方法

(https://form.jwrc-net.or.jp/form/form.php?form_id=FWP_2024Workshop_application)
のフォームよりお申込みお願いいたします。

フォームが開けない場合は、(fwp@jwrc-net.or.jp) までご連絡ください。

8. 申込期限 : 令和7年3月7日(金)

9. その他

- ・ YouTube、Zoom の URL 等は、申込フォームの受付完了のメールと共にお送りいたします。メールが届かない場合は、(fwp@jwrc-net.or.jp) までご連絡ください。
- ・ 当日は質疑の時間を設けていません。ご質問やご感想については後日送付するアンケートに記入願います。
- ・ 報告会の録画はご遠慮ください。
- ・ 報告会の受講証明書の発行は、行いません。

10. 水道技術研究センターの位置付け

- ・ FWP 研究会の事務局として会場の設定、参加者の整理、研究会開催の周知

11. 総合討論について

総合討論では水道、防災の分野で活躍される学識者、有識者、官公庁、水道事業体の皆様に参加いただき、下記テーマについて議論します。

○テーマ：最近の水道・消防の動向、阪神・淡路大震災から30年、能登半島地震から1年を踏まえてこれから

- ▶消防分野では消防水利の基準で定める消火栓を設置する水道配管の管径基準の緩和を受けての現場の意見や変化などについて、水道分野では水道行政の移管に伴う今後の耐震化対策について議論します。同時に、阪神・淡路大震災から30年、そして令和6年能登半島地震を経験した今、次に起こる大震災に対してどのような対策をしていく必要があるかについて意見交換を行います。